

千布小学校だより

特集号 H29. 9. 25
天童市立千布小学校
校長 柏倉 充

「結果に至るまでの考え方」を記述説明する力

全国学力・学習状況調査結果を受けて授業改善を進めます

4月に6年生が取り組んだ「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果をお知らせします。本校の学力の状況は、全てにおいて全国・県平均を大きく上回り、大変良い結果でした。

【学力の状況について】

平均正答率（％）

	国語 A（知識）	国語 B（活用）	算数 A（知識）	算数 B（活用）
全国平均	74.8	57.5	78.6	45.9
山形県平均	76	55	77	44
本校平均	◎	◎	◎	◎

※全国・県平均と比べて、◎：大変良い ○：良い △：課題がある ▲：大きな課題がある

本調査は、順位づけや序列化のためのものではありませんから、本校平均の数値は公表しません。上記の全国と県の平均の差も、出題数から見れば1問の差にも満たないわずかなものです。平均点を競うことは、もっともっと伸びようとしている子供たちの励ましにつながりません。

結果に関しては、「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる」という本調査の目的どおり、日々の授業改善に役立てます。調査は6年生が受けたものですが、6年生の特徴的な傾向は、学校全体の傾向を表すものと捉えて対応します。また、6年生児童一人一人の個人票につきましては、一人一人と面談しながら学習改善や学習意欲の向上につなげるとともに、保護者面談の折に配付します。

本校の特徴的な傾向は次の通りです。

【よかったところ】

- ◎ 漢字の読み書き、計算問題などの知識・技能を問うA問題は、全問好成績です。
- ◎ 習得した知識・技能を活用する力を問うB問題で、特に高い正答率だった問題です。
(国語B)「文章を基に理由を明確にして、自分の考えを記述する」こと。
(算数B)「示された条件に合った式を立てる」こと。

【課題となるところ】

- △ B問題で、全国的に課題となったところと同様でした。
(国語B)「話し合いで、相手の発言の意図を捉える」こと。
「目的に応じ、必要な内容を整理して記述する」こと。
(算数B)「仮の平均の考え方を他の場合で活用し、他の場合の平均を求める方法を記述する」こと。
「目的に適したグラフを選択する」こと。

次に算数の問題です。

右は、算数 B で、本校の強みが分かった問題です。算数の問題場面から、数の関係を見出し、見出した関係が、他の場合でも成り立つかどうか確かめていく内容です。

ここでは、カードを使った 2 桁のひき算の例示を基に、「2 桁のひき算の答えは、全て 9 の倍数になるのではないか」や「答えが同じ 2 桁のひき算は、カードの差が同じになるのではないか」などの数の間のきまりを予想し、そのきまりが他の場合も成り立つかどうか確かめていきます。

右の (1) が 1 問目です。この問題場面で、カードの差が 4 の場合はどうか、式を立て、答えを出して確かめる問題です。正答例は、「 $51 - 15 = 36$ 」です。大変高い正答率でした。

3 問目は記述式の問題で、カードの差を使って、2 桁のひき算の答えをかけ算で求めることができるというきまりを、言葉と数を使って説明を書くものです。正答例は「カードの差に 9 をかけると、2 桁のひき算の答えになります。」です。この問題も全国平均を大きく上回る正答率となりました。

数の間にきまりを見出す楽しさ、きまりが成り立つ理由を図や式や言葉で記述するよさを、低学年から積み重ねることの大事さを確認しています。

課題が見えた「仮の平均の考え方を他の場合で活用し、他の場合の平均を求める方法を記述する」ことについては、能率的に処理するために工夫して計算すること。また、「目的に適したグラフを選択する」ことについては、子供たちの日常生活の内容を、表やグラフを使って、整理し表現することなど一層の推進が必要です。

活用の B 問題は、これからの時代を生きる子供たちに必要な学力を、問題文として表しています。この度の調査結果、特に B 問題の本校の特徴的なよかったところや課題から、今後の授業改善の重点は、「結果に至るまでの考え方」を筋道立てて書いたり、説明したりできるようにすることです。自分の考えを書いたり話したりする学習を、どの教科でもより一層丁寧に行っていきます。勉強した言葉や図・表・グラフを使って友達に説明する、ノートに自分の考えを書き込むという学習活動を低学年から積み上げていきます。また、総合学習や児童会等の特別活動では、教科等で勉強した考え方（言葉）を活用・表現するよう促し、学びがいを実感できるようにしていきます。また、自分の考えを安心して表現できる学級の温かい仲間づくりにも継続して力を入れていきます。

1

1 から 9 までの数が書かれたカードが 1 枚ずつあります。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

この中から 2 枚のカードを選んで、次のような 2 けたのひき算の答えについて考えます。

カードを使った 2 けたのひき算

選んだ 2 枚のカードを並べて、2 けたの整数を 2 つつくり、大きい数から小さい数をひきます。

例えば、1 と 9 を選んだ場合、19 と並べると 19 がつくれます。91 と並べると 91 がつくれます。

2 けたのひき算の式 $91 - 19$
2 けたのひき算の答え 72

選んだ 2 枚のカードに書かれた数どうしの差を、「カードの差」と呼ぶことにします。例えば、1 と 9 の 2 枚のカードの差は 8 です。

あやかさんは、カードの差が 1, 2, 3 の場合について、すべての選び方で 2 けたのひき算をしました。

カードの差が 1 の場合

$21 - 12 = 9$
 $32 - 23 = 9$
 $43 - 34 = 9$
 $54 - 45 = 9$
 $65 - 56 = 9$
 $76 - 67 = 9$
 $87 - 78 = 9$
 $98 - 89 = 9$

カードの差が 2 の場合

$31 - 13 = 18$
 $42 - 24 = 18$
 $53 - 35 = 18$
 $64 - 46 = 18$
 $75 - 57 = 18$
 $86 - 68 = 18$
 $97 - 79 = 18$

カードの差が 3 の場合

$41 - 14 = 27$
 $52 - 25 = 27$
 $63 - 36 = 27$
 $74 - 47 = 27$
 $85 - 58 = 27$
 $96 - 69 = 27$



あやか

カードの差が 1, 2, 3 の場合、2 けたのひき算の答えは、それぞれ 9, 18, 27 になっています。

(1) カードの差が 4 の場合の、2 けたのひき算の式を 1 つ書きましょう。また、答えも書きましょう。

【学習や生活の状況について】児童質問紙による学習や生活状況の調査の結果（抜粋）です。

	質問事項	本校	山形県 (%)	全国 (%)	備考
①	朝食を毎日食べていますか。	◎	96.5	95.4	「食べている」「どちらかといえば食べている」の割合
②	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	△	80.6	79.8	「同じくらいの時刻に寝る」「どちらかといえば同じ」割合
③	1日当たりどれくらいの時間 TV ゲーム(コンピュータ・携帯・スマホ含む)やインターネットをしますか。(月～金)	◎	44.7	44.7	1時間未満の割合
④	1日当たりどれくらいの時間読書をしますか。(月～金)	◎	37.7	36.5	30分以上の割合
⑤	地域の行事に参加していますか。	◎	82.7	62.6	「参加している」「どちらかといえば参加」の割合
⑥	学校の授業の復習をしていますか。	○	72.8	53.8	「している」「どちらかといえばしている」の割合
⑦	土・日など学校が休みの日に、1日当たり何時間勉強しますか。(学習塾・家庭教師に教わる時間も含む)	○	25.2	24.6	2時間以上の割合
⑧	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	◎	52.6	52.6	「得意」「どちらかという得意」の割合
⑨	自分には、よいところがあると思いますか。	◎	80.1	77.9	「ある」「どちらかというある」の割合
⑩	話し合いでは、友達の考えを受け止め、自分の考えをもつことができますか。	◎	87.7	85.5	「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合
⑪	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	◎	81.9	81.2	「いけないと思う」の割合
⑫	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。	○	79.7	77.4	「挑戦している」「どちらかといえばしている」の割合
⑬	家の人(兄弟姉妹を除く)と将来のことを話すことがありますか。	◎	49.3	50.4	「よく話す」「時々話す」の割合

※全国・県平均と比べて、◎：大変良い ○：良い △：課題がある ▲：大きな課題がある

このように全国や県より有意に上回っている項目がほとんどでした。

①～⑤の項目から、子供たちは温かなご家庭で育ち、地域の皆様から健やかに育まれていることが分かります。ですから、明朗快活で、自他尊重(⑧～⑪)の意識も高く、前向きに、未来への夢や希望(⑫、⑬)をもつことができるのでしょう。

一方で、個人差も大きな項目ですが、家庭学習については、その方法も含めて学校でも指導してまいります。ゲームやインターネット、DVD等にかける時間が家庭学習をはじめ生活習慣の阻害要因となることも考慮し、学校と家庭との一層の連携が必要であると考えます。

ご家庭におかれましても、基本的な生活習慣形成や温かい励ましをよろしく願います。

